

よ読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

赤磐市の中学生（当時）が、地元の事業所と協力して「甘酒プリン」のレシピを考えました。記事を読み質問に答えましょう。

てい がく ねん
**低学年も
 チャレンジ!**

Q1 プリンのレシピ開発は、地域に酒蔵が多いことに注目して取り組みました。もしプリンの商品にするなら、どんな名前がいいかな。自由に考えてみましょう。

Q2 レシピでは、甘酒の食感をほどよく残すため裏ごしする分量を減らしています。「裏ごし」とはどんな作業ですか。調べて書いてみましょう。

Q3 今回の成果は岡山県教委の賞で最優秀に選ばれました。賞の名前は何ですか。次の三つから正しいものを一つ選ぼう。

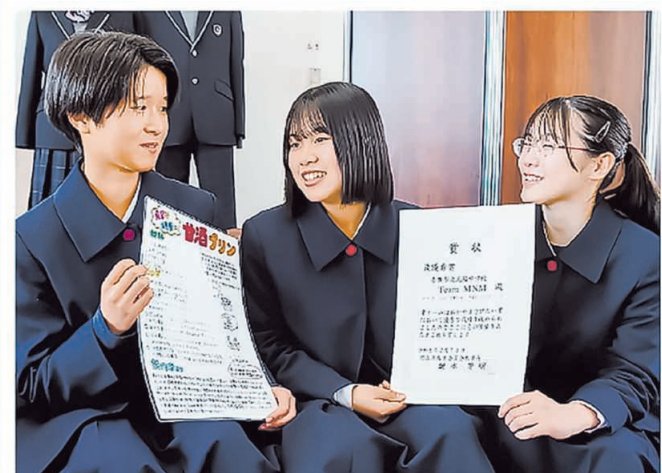
- ①おかやま頑張る賞
- ②おかやま知りたい賞
- ③おかやま学びたい賞



赤磐 赤磐市立高陽中（同市上市）3年生3人が、地元の事業所と協力して「甘酒プリン」＝写真＝のレシピを開発した。酒どころを盛り上げようと、昨年9月からまちづくりの探究学習として挑戦。幅広い世代に好まれる上品な甘さに仕上げ、市内の農産物直売所などでレシピを配っている。（近藤哲也）

高陽中3年生3人 事業所とレシピ開発

甘酒プリンで地元PRを



レシピや賞状を手にする（左から）坂本さん、難波さん、小林さん

3人は坂本菜洗さん、難波望愛さん、小林未菜さん（15）。地域に酒蔵が多いことに注目し、甘酒やみそ製造の笹壱商店（岡山市東区瀬戸町宗堂）にレシピを相談した。何度も通いながら改良を加えた。完成品は、豆乳をたっぷり使い、まろやかな風味を表現。リーダの坂本さんは「上品な甘み、作りを相談した。何度も整えた」と胸を張る。裏ごしする分量を減らし、粒感もほどよく残した。レシビは笹壱商店のほか、赤坂青空市（赤磐市東窪田）など市内3カ所の農産物直売所に置いている。

今回の成果は、地域課題解決に向けた小中学生の取り組みをたたえる県教委の「おかやま学びたい賞」で、応募があった55小中学校計96点の中から、井原市立青野小とともに最優秀賞に選ばれた。

今春から同じ高校に進む難波さんと小林さんは「引き続き探究を続けて商品化までこぎ着けられれば」と口をそろえ、坂本さんは「これからも機会を見つけて地元の魅力を伝えていきたい」と話した。

県教委「学びたい賞」最優秀賞に

過去の問題は
 こちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。